



中之島地区の災害関連緊急地すべり対策事業採択



河川護岸の開口亀裂



人家のゆがみ



概要

被災年月日：平成14年5月30日
 雨量：連続雨量 140mm
 最大時間雨量 42mm
 規模：L=650m
 W=450m
 採択事業費：726,000千円

十島村の中之島地区については、補助地すべり対策事業により調査・観測を実施していましたが、平成14年5月30日の豪雨によって地表面の顕著な動きが観測されました。

このように、地すべり現象が活発となったことから国土交通省に災害関連緊急地すべり対策事業を申請し、平成14年6月18日に採択されました。

インデックス

- 中之島地区災害関連緊急地すべり対策事業・・・1
- 平成13年度土砂災害に関する
絵画・ポスター・作文優秀作品・・・・・・・2
- 気象台と連携した土砂災害警戒情報の提供・・・4
- 「21世紀かごっまの砂防」をめざして
～砂防事業設計積算基準改訂～・・・・・・・4
- 冠岳の地域づくりと砂防の学習会・・・・・・・5
- 土砂災害防止法に関するQ&Aコーナー・・・・6
- 鹿児島砂防ボランティア協会活動報告・・・・7
- 砂防課職員配置図・・・・・・・・・・・・・・7
- インタビューコーナー・・・・・・・・・・・・・・8

平成13年度 土砂災害に関する絵画・ポスター・作文優秀作品

「土砂災害防止月間(毎年6/1～6/30)」の一環として、鹿児島県と国土交通省では小中学生を対象に絵画・ポスター・作文コンクールを実施しています。

県下の小中学校から応募のあった304作品の中から選ばれた平成13年度の優秀作品の一部を掲載します。

絵画の部



国土交通省砂防部長賞, 鹿児島県知事賞 最優秀賞
金峰町立白川小学校1年 宇治野 大介



国土交通省砂防部長賞, 鹿児島県知事賞 優秀賞
鹿児島市立黒神中学校2年 田中 優香



国土交通省砂防部長賞, 鹿児島県知事賞 優秀賞
鹿児島市立黒神中学校1年 西向 結衣

ポスターの部



鹿児島県知事賞 最優秀賞
鹿児島市立谷山小学校6年 八重倉 孝貴



鹿児島県知事賞 最優秀賞
西之表市洋榕城中学校2年 鳥巢 望都子

※学校名, 学年は平成13年6月現在のものです

土砂災害を考えて

国土交通大臣賞
鹿児島県知事賞 最優秀賞

知覧町立知覧中学校三年
林川 智昭

「八年前、台風犠牲の島中君へ二十歳の誓い」
これは、今年の一月六日の新聞の見出しです。

平成五年、金峰町の崩山で起きた土砂崩れのために、当時中学一年生だった島中勝幸君が亡くなりました。そのときの同級生が成人式を迎えたという内容でした。実は中学一年生の時に、僕は島中君の詩と出会っていたのです。

春はつくしが生え
たんぼほが咲く
夏はセミが鳴き
チヨウがまう
秋はひがん花が咲き
とんぼが飛ぶ
冬はみんな休む
森も 虫も 花も。
だけど野原はうたう
風にまぎれて

国語の授業で、彼の遺作となったこの詩を紹介されました。当時の彼と同じ十三歳だった僕は、その時何を考えたのか残念ながら覚えていません。ところが二年後、中学三年生になった僕にあのときのことを思い出させる出来事がありました。

ある日のテレビ番組で、同じく平成五年八月六日鹿児島を襲った水害の様子が流れました。画面の中に繰り広げられたその情景は、僕の想像をはるかに超えて、人間が何の力も持たないちっぽけなものに見えました。映し出される映像は、大変ショックなものでした。

人々の頭上に襲いかかる大量の土砂。数十秒で、多くの命を飲み込もうとする土石流。絶えず降り続き、水量は太ももに達する中で泥まみれになりながら助けを持つ人々。せまってくる山、目の前に広がる海。絶体絶命の状況で助け合う人々。テレビを見ながら心の中に感動がわきあがってきました。

思い出す場面で、「こんなときにも人々は助け合えるんだ」とおっしゃっていましたが、僕も同じ気持ちになりました。もし自分がその場にいたら、どんな行動をとったのでしょうか。

だからこそ、災害にあった一人の方が、さわやかに「みんなで助かろう思った」とおっしゃった言葉はとても深い意味を持っていると思いました。自分の中で一番印象に残っているのが、海に投げたされた警官が自力ではいあがっている場面でした。そして、御自分もけがをしているのに、「あと数秒早ければ助けられたのに」と自分を責めているその姿に言葉もでませんでした。

平成五年、この年は大きな土砂崩れが三回ありました。八・六水害、崩山の事故、もう一つは、五月、山川町で起きた土砂崩れでした。

午前八時ごろ、小学校二年の姉と保育園に通う弟の二人が、家を出ようとした瞬間、裏山が崩れ、二人の家もろとも土砂に埋もれてしまったそうです。二人はこの事故でお母さんと小学校六年のお姉さんを一度に亡くしてしまいました。

あれから八年、二人は僕の中学校の先輩と後輩になります。

そのことを知ったとき、災害は、僕よりずっと離れた所で起っているわけではないということを実感しました。

また、全国で起こる土砂災害の一角が鹿児島県で起きていると知り、ますます不安が大きくなりました。

常に、危険にさらされているという意識を持って生活をしなければならぬようです。

次に僕が考えたことは、なぜこんな災害が起きるのだろうかということでした。

「人間」の暮らしが優先される今の時代は、自然を切りくずして自分たちの居場所を作っています。

本当はちっぽけな「人間」が、大きな自然にはむかって生活してはいるのでしょうか。「自然」に挑んだって、征服することはできないのに。

これからは、自然と共存することを考えて生活していく時期にきているのではないかと思います。

このように土砂災害によって多くの人間が命を落とすという事実を知り、今後の対策を考えていくべきだと思うようになりました。

地震や土砂崩れは、壊れた自然が自分を治療しているように感じられます。

ということは、土砂災害が増えるも減るも、これからの僕たちの生き方次第だと思えます。

元を返せば、人間が自然に住まわせてもらっているわけですから。

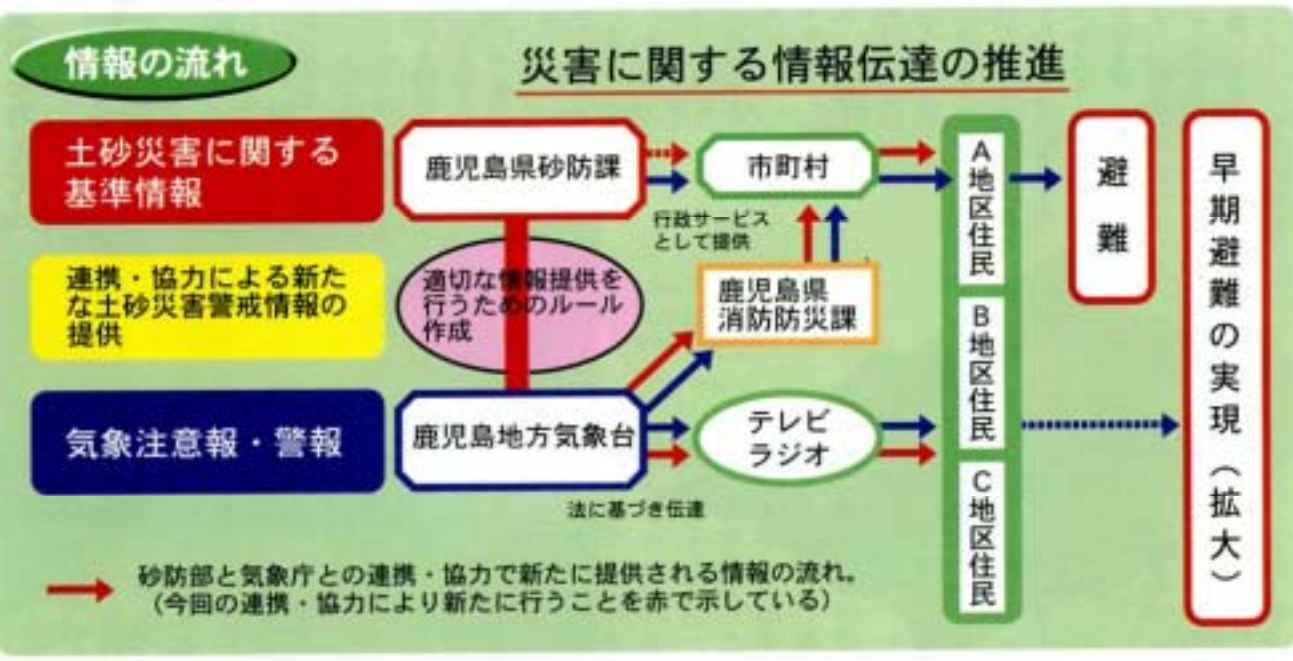


国土交通大臣賞・鹿児島県知事賞最優秀賞を受賞した林川君(前列中央)

気象台と連携した土砂災害警戒情報の提供

現在、砂防課と鹿児島地方気象台では、それぞれの方法により土砂災害警戒情報の提供を行っています。今回、両者が連携・協力し、より精度の高い情報を迅速かつ確実に市町村や住民へ提供することにより、警戒避難行動を支援することとしています。

有効な情報を提供するために国土交通省砂防部と気象庁が共同で検討委員会を設置し、鹿児島県はモデル県として、情報伝達の段階的な試行を行い、問題点の抽出や情報内容の検討を行っているところです。



「21世紀かごっまの砂防」をめざして ～砂防事業設計積算基準改訂～

①改訂の経緯

前回の改訂以降に「土石流対策技術指針(案)」等の様々な指針が改訂となっております。これらの改訂内容を計画・設計に反映させるため、今回の改訂となりました。

②主な改訂概要

- 1) 施設計画における調査の重要性を考慮して、調査編を追加しました。
- 2) 施設計画及び設計に必要な指針等を取りまとめ、基準・指針編を追加しました。

③改訂作業

砂防課職員、土木事務所等で砂防事業に精通した職員、鹿児島県建設技術センター職員及びコンサルタントで構成する作業部会を設置し、計画・設計・施工の様々な面から改訂内容について検討を行いました。

④お願い

本設計積算基準において不明な点や更に基準化が必要と思われる事項等がありましたら、遠慮なく砂防課まで御連絡下さい。必要に応じて県内の統一を図り、基準書に反映させたいと思います。



砂防ってなんだろう？ 冠岳の地域づくりと砂防の学習会

「人、自然」と共生するための「花川」の砂防とは？



美しく豊かな自然環境の残る冠岳地域を流れる花川では、このようなコンセプトをもって**溪流再生砂防事業等**により整備が進められています。冠岳地域の将来を担う子ども達に、花川をとおして砂防事業が身近な事業であることを実感・体験してもらうために串木野市と伊集院土木事務所との合同で、平成14年2月16日、「冠岳地域づくりと砂防の学習会」を開催しました。

まずは教室で冠岳地域の歴史や砂防堰堤の役割等についての勉強会

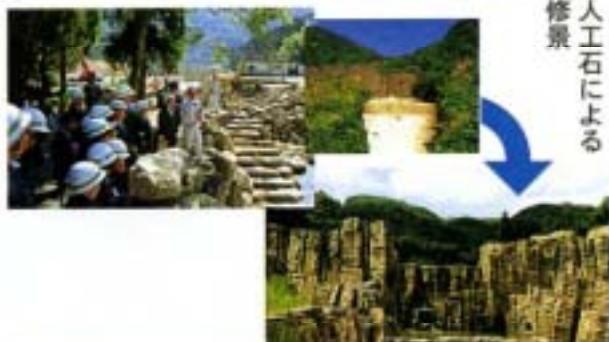


花川を中心とした冠岳地域の整備の説明



将来はこんなになるんだー楽しみだー

周囲の自然環境に合わせた溪流の整備状況の説明



人工石による修景

生徒全員で花川のミニチュア完成予想模型づくり



やったー！完成だー！！

ここはあーしてこーしてうまいくかなー



最後にみんなで記念撮影！！



土砂災害防止法に関するQ&Aコーナー

土砂災害防止法の疑問・質問について、具体的に紹介していきます。

Q1：土砂災害のおそれのある箇所はどのようにして調べるのですか？

A1： 県内全域についてデジタルオルソフォトという数値データを持った写真地図(例：図1、図2)を作成します。

これにより斜面の高さや傾斜度がわかるとともに、写真から人家等の分布や構造を詳細に把握することができるため、土砂災害(がけ崩れ、土石流、地すべり)のおそれのある箇所を調べることができます。



図1：デジタルオルソフォト

図2：鳥瞰表示

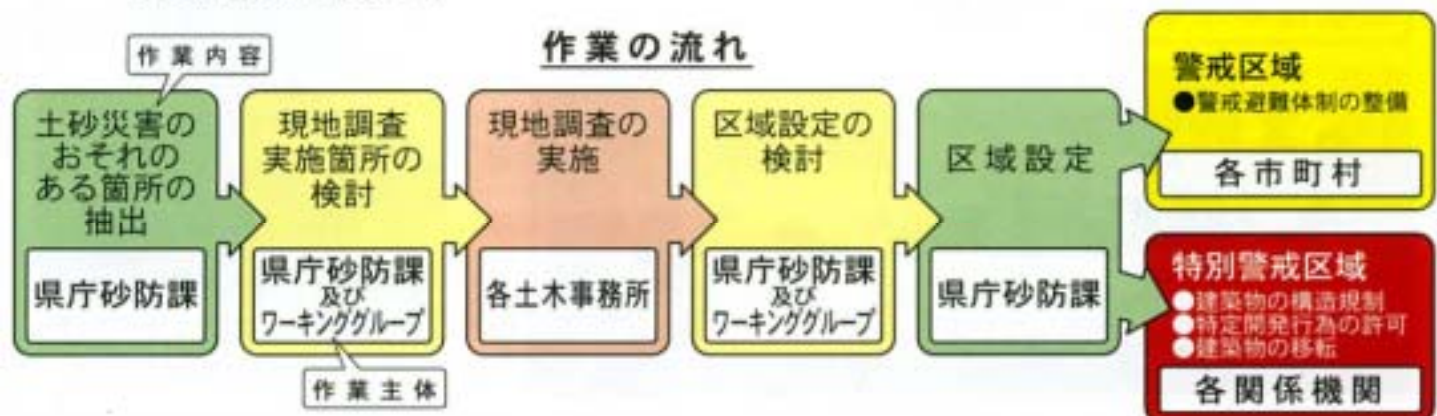
Q2：今後どのような作業を行うのですか？

A2： 写真地図を作成して土砂災害のおそれのある箇所の抽出までは、砂防課で行います。その後、区域指定のために現地での調査が必要となりますが、これについては各土木事務所での対応を予定しています。

どの箇所から現地調査を実施するかは、砂防課及び関係者で構成されるワーキンググループ(砂防、治山、地域防災担当者)において、地域の実状等に応じて優先順位を決定し、計画的に行っていきます。

現地調査の実施後、県において速やかに区域の指定を行うとともに、市町村において警戒避難体制の整備をはかることとなります。

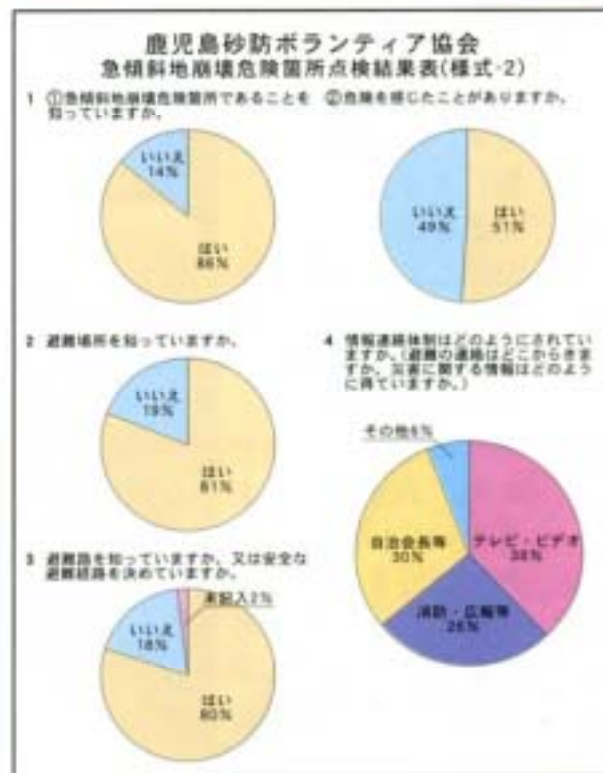
現在、ワーキンググループを対象とした土砂災害防止法の説明会を地域ごとに実施しています。



平成14年6月7日に鹿児島市内の急傾斜地崩壊危険箇所(157箇所)の施設や斜面状況の点検、住民の方への聞き取り調査を行いました。

今回は、265名の方から聞き取り調査を行いました。多くの方が危険箇所の認識はしているものの、避難場所を知らない方が約20%を占めるといった結果が得られました。

今後も、土砂災害危険箇所の施設点検時に、住民の方々への土砂災害に対する意識の向上に努めていきたいと考えています。













































住民への聞き取り状況



砂防課 職員配置図

(平成14年11月1日現在)

 課長補佐 丸山 美代子 (○3612)	 砂防課長 迫 正敏 (★3611)	 技術補佐 宇都 博美 (★3613)												
工事事務係 予算・決算・砂防指定地等の指定・管理事務に関すること  主幹兼 工事事務係長 別府 辰美 (★3614)	傾斜地保全係 急傾斜地崩壊対策事業・地すべり対策事業・砂防基礎調査に関すること  技術主幹兼 傾斜地保全係長 脇田 浩隆 (★3616)	砂防係 砂防事業・土砂災害情報相互通報システム整備事業に関すること  技術主幹兼 砂防係長 福元 純二 (○3617)												
<table border="1"> <tr> <td>  主 査 大磯 茂 (○3615) </td> <td>  主 査 田中 隆志 (○3620) </td> </tr> <tr> <td>  主 事 洲崎 留美 </td> <td>  主 事 日渡 富雄 </td> </tr> </table>	 主 査 大磯 茂 (○3615)	 主 査 田中 隆志 (○3620)	 主 事 洲崎 留美	 主 事 日渡 富雄	<table border="1"> <tr> <td>  技術主査 川上 弘二 (★3618) </td> <td>  技術主査 堀之内 毅 (○3619) </td> </tr> <tr> <td>  土木技師 増田 貴文 </td> <td>  土木技師 原田 尚志 </td> </tr> <tr> <td>  土木技師 大山 寿郎 (○3621) </td> <td>  土木技師 伊地知 明義 (○3622) </td> </tr> <tr> <td>  土木技師 石田 知謙 </td> <td>  土木技師 横山 大介 </td> </tr> </table>	 技術主査 川上 弘二 (★3618)	 技術主査 堀之内 毅 (○3619)	 土木技師 増田 貴文	 土木技師 原田 尚志	 土木技師 大山 寿郎 (○3621)	 土木技師 伊地知 明義 (○3622)	 土木技師 石田 知謙	 土木技師 横山 大介	
 主 査 大磯 茂 (○3615)	 主 査 田中 隆志 (○3620)													
 主 事 洲崎 留美	 主 事 日渡 富雄													
 技術主査 川上 弘二 (★3618)	 技術主査 堀之内 毅 (○3619)													
 土木技師 増田 貴文	 土木技師 原田 尚志													
 土木技師 大山 寿郎 (○3621)	 土木技師 伊地知 明義 (○3622)													
 土木技師 石田 知謙	 土木技師 横山 大介													
電 話 099-286-★印(ダイヤルイン) 099-286-2111(代表) F A X 099-286-5627 メールアドレス (砂防課) sabou@po.pref.kagoshima.jp (砂防課傾斜地保全係) keisha@po.pref.kagoshima.jp (砂防課砂防係) esc@po.pref.kagoshima.jp														

川内土木事務所河川港湾課 黒瀬公美子さん



現在、鹿児島県で砂防関係の事業を担当している唯一の女性技師である川内土木事務所の黒瀬公美子さんに話を聞きました。

Q. 土木技師を目指したきっかけは？

A. 何か専門的なことを学びたいと思っていた時、あちらこちらで見かける土木工事に興味を持ったことです。

Q. 砂防事業に対するイメージは？

A. 初めて現場へ行ったとき、山中に突然現れた堰堤にとっても驚きました。人目に触れず地味なイメージでしたが、人の命を守る大切な役割を果たしていることを知りました。

Q. 休日の過ごし方は？

A. 友人(?)と海へ行ったり、買い物をしたり、遊びが中心です。疲れたら、実家へ帰って休養します。

Q. 結婚をしたら？

A. 結婚しても仕事は続けたいと思います。相手にもよりますが。

Q. 好きな(お薦めの)場所は？

A. 樋脇町にある砂防堰堤(写真に写っている現場)デートスポットにぜひ取り入れてください。

Q. 好きな食べ物は？

A. 基本的に、雑食性でたいていのものは好きです。(この間、ハチの子をおそろおそろ食べましたが、とてもおいしかったです。)

Q. 焼酎は好きですか？

A. 焼酎はビールを一杯ぐっと飲んだ後、3~4杯はいけます。飲んかた(飲み方)は好き、いや大好きです。飲み会にはほとんど参加します。(悲しいですが、夜はけっこうヒマなので)



■同僚(Y.Mさん)のコメント

彼女は、最初のうちは砂防の仕事に対し、戸惑っていたようですが、最近は持ち前の明るさと努力により仕事にも慣れ、彼女の個性が担当現場にも表現されていることもあります。彼女のおかげで、職場全体の雰囲気も一段と明るくなった気がします。これからも仕事に遊び(スポーツ&恋)に頑張ってもらいたいです。

* 編集後記 *

今回から「砂防メールかごつま」の発刊は、(財)鹿児島県建設技術センターの公益事業として位置づけられ、誌面を全面カラーでお届けしております(写真等が一段と見やすくなりました)。今後とも、皆様により親しまれる「砂防メールかごつま」になるよう、編集委員8名一同、皆様の期待に応えていきたいと思っています。

御意見・御感想をお寄せください!!

*あて先は、砂防課「砂防メールかごつま」係へお願いします。

TEL : 099-286-3614・3616・3618

FAX : 099-286-5627 E-mail : sabou@po.pref.kagoshima.jp